

7 その他全般的事項

<地球社会共生学部 地球社会共生学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
設置の趣旨等を記載した書類 P.8 エ - 3) タイの駐在教員	留学開始時期となる平成28年度に駐在教員を置いた。
P.8 エ - 4) 留学のセーフティネット	専門の危機管理サービスによるサポートも実施することにより、更なる安全安心の確保を図る。 平成28年度は学部教員によりFacebookで定期的な安全確認と危機に関する情報提供を行った。
P.11 カ - 1) フィールドワーク論の配置	留学開始時期（2年次後期以降）に合わせ、2年次に配置。
P.12 カ - 2) オフィスアワー	ピア・サポート制度（学生約20名を1チームとし、各チームを教員1名がサポートする制度）により、時間を問わず学生が教員に相談できる環境を整えた。
P.12 カ - 2) ピア・サポート団体の組織化	上述のピア・サポート制度を開設時に組織した。平成28年度から1, 2年生のチーム間連携により上級生の助言等を実施。また、全学生を対象とした交流の機会としてチームデイを実施した。平成29年度はチームデイを1年次生と2年次生それぞれ1回ずつ実施する。
P.20 ク - 4) C. B方式入学試験（特定科目重視型）	平成28年度入試より、出願資格としてTEAPを採用した。
P.20 ク - 4) D. 推薦・特別入学試験の特色	平成28年度入試より、出願資格としてTEAPを採用した。出願資格を明確にするため、自己推薦入学試験の出願資格から、「ト.リーダーシップ研修実績」を削除した。
P.23 サ 2) フィールドワーク論単位数	誤記訂正。単位数は2単位。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成29年度より学部内にFD委員会を設置し、委員会メンバーを中心として学部における教育実施上の課題の検討、およびそれらの改善に向けた取り組みを行うこととした。

学部選出の全学教務委員が全学FD委員会会議に出席し、委員会と学部間の連絡・調整を行い、その方針に沿って全学部と足並みを揃え、具体化した取り組みのもと、FD活動を実施している。また、その結果などを主任会、教授会において報告を行い、情報の共有とともに改善を図る。

また、主任会の他に、教務委員会、学部国際交流委員会等が設置されており、委員を選出し、必要に応じ学部内の課題（カリキュラム、FDを含む）を協議する。

平成31年度からの新カリキュラム施行に向けて、学部長のもとに「学部教育検討ワーキンググループ」、「科目編成タスクフォース」、および個別課題ごとのタスクフォースを立ち上げ、現行カリキュラムの課題を整理し、新カリキュラム以降の制度改善と実施展開方法を検討する。（新カリへの移行が完了するまでの時限的なもの）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

全学FD委員会は年に数回開催され、学部選出の全学教務委員が全学FD委員会会議に出席する。

学部教授会の当日に主任会を行い、学科主任、教務主任、国際交流主任と打ち合わせを実施する。事前に主任会を実施することにより、審議事項の整理と検討および情報の共有が十分に行われるよう配慮している。また、主任会で検討が十分にされなかった案件については、定期的に定例主任会を実施し検討の時間を確保している。

「学部教育ワーキンググループ」（構成員5名）、科目編成タスクフォース（構成員6名）、その他個別タスクフォースは（構成員延べ36名）で不定期に実施。平成29年度は「学部教育ワーキンググループ」が10回、「科目編成タスクフォース」が7回の会合を実施し、課題整理ならびに新カリキュラムにおける制度改善および実施展開案を作成した。今後は個別タスクフォースを中心とする協議検討を実施する。

c 委員会の審議事項等

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業アンケートの実施
- ・ 新任教員のための研修会、説明会
- ・ 各学年への意識調査とその結果の報告、分析、改善
- ・ 留学に関わる危機管理セミナー
- ・ 英語教育に関する説明会・研修会
- ・ アクティブラーニング等の教育研究実践事例に関する勉強会

記入例)

- ・ 授業方法について研究会
- ・ 教員相互の授業参観
- ・ 新任教員のための研修会 等

b 実施方法

授業評価アンケートは前期と後期において、Webで実施。

新任教員のための研修会を大学として実施。

各学年への意識調査、新入生へのアンケート実施。

学生を対象とする留学に関わる危機管理セミナーに参加。

全教員が集まる教授会の終了後に、学部FD委員会主催で英語教育に関する説明会・研修会を実施。

全教員が集まる教授会の終了後に、学部FD委員会主催でアクティブラーニング等の教育研究実践事例に関する勉強会を実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

新任教員のための研修会は、4月と7月に実施され、対象者は全員参加。

教授会は原則、全教員が参加。主任会、各種委員会も諸委員にて構成される。

前年度のセミナーに参加していない教員及び新任教員が留学に関わる危機管理セミナーに参加。

英語教育に関する説明会・研修会が教授会終了後に開催され、教授会出席メンバー全員が参加。

アクティブラーニングの実践事例に関する勉強会が教授会終了後に開催され、教授会出席メンバー全員が参加。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

学生意識調査の結果を踏まえ、基礎演習の担当者と打ち合わせを行い授業内容や実施方法を検討。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

実施有：前期（前期科目対象）と後期（後期科目対象）に実施。
原則として最終授業日に実施。

b 教員や学生への公開状況，方法等

まず教員に開示され、続いて学生に対してWEB上にて公開される。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

専任に加え非常勤教員にも趣旨・目的の共有を図り、常に趣旨・目的に即すよう点検しながら授業を進めている。
完成年度をめどに達成状況を総括する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年（年内） 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年（年内）を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 4月)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には，5月1日時点で公表している場合，もしくは，今後公表する予定の場合は，「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は，「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には，「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ，時期を記入してください。